

岡山秋季国体

第3日の24日は、陸上の成年男子四百メートルで成泊健児(大分・筑波大)が日本歴代3位となる大会新記録の48秒09で2連覇を達成した。成年女子八百メートルは8月の世界選手権に出場した丹野麻英

少年女子千五百メートル 独走で優勝した小林

——福島健太郎選手



(福島・福島大)が大会初の2分4秒60で優勝。少年女子千五百メートルはジュニア日本記録保持者の小林祐梨子(兵庫・須磨学

園高)が4分14秒09で制し、少年女子共通の最長記録(口加高)はジュニア日本新記録の54分53

タイムに不満

○：陸上の少年女子千五百メートルは、兵庫・須磨学園高2年の小林が独走で優勝した。400メートル通過時点では、9月にマークしたジュニア日本記録を上回るペースだった。それだけに「ゴール

した時にタイムを見て、もう少し速いかなと思っていた」と不満そうな表情も。

これからは年末の全国高校駅伝へ向けての調整に入る。「チームの優勝が第一目標。スピードを生かした走りをしてほしい」と抱負を語った。